

り  
駐  
ター  
Aコ  
さい。  
胃の  
受け  
す)  
館  
民館  
館  
民館  
時半  
食物  
前を  
課税  
合税  
い)  
い。  
い  
度  
に對  
する  
。  
事業  
業  
お悩  
社係  
261)

# 広報

# いまり

No.446



市民レクリエーション祭 (3/10 関連記事 14 ページ)

ペタンクで逆転の一投に飛び上がって喜ぶ子どもたち

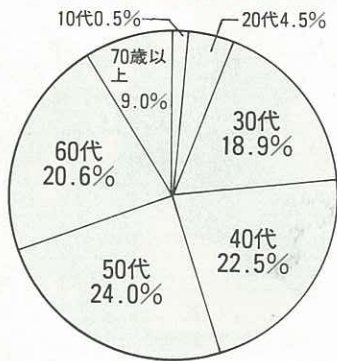
91  
**4**月

〈人口〉 男28,751人 女32,142人 計60,893人(前月比-8)〈世帯数〉17,456世帯(3月1日現在)



アンケートは去年の広報いまり11月号の紙面をそのままアンケート用紙として利用し、全世帯に配布しました。回答者は、性別や年齢など特定しないで、

## あなたの年齢は？



1世帯で1枚回答してもらいました。

このうち男性1,615人、女性1,654人の計3,269人から回答が寄せられ、回収率は18.8%でした。回答者が3,000人を超える調査は世論調査にしてもあまりなく、かなり正確な傾向がわかるものと思います。

回答者を年代別にみると、10代、20代と70歳以上は少ないものの、30代から60代まで平均して回答が寄せられました。50代と60代ぐらいに回答が集中するのではないかと心配していましたが、30代、40代からも多数回

去年行った広報アンケート調査の結果がまとまりましたのでその概要をご紹介します。

私たちは、市の政策や市内での出来事などを「広報いまり」を通じて皆さんにお知らせしていますが、読んでもらえる「広報」でなければ効果はありません。今回のアンケート調査の結果を参考に、もっともっと皆さんに親しまれ、愛される「広報いまり」にしていきたいと考えています。

答が寄せられ、この年代の人たちにも読んでもらえているのだと安心しました。

広報いまりが家庭に届くのは、駐在員、地区役員さんたちのおかげで、毎月10日までが82.4%と大多数を占めています。

## 72.3%の人が 広報の愛読者

「広報いまりを読んでいますか」の問いには72.3%の人がよく読むと答え、たまに読む人まで含めると98.8%にもなります。

## 特集をどう料理 するかに関心



農協いまりを担当して7年目の  
梶原敏雄さん  
(黒川町畑川内42)

農協いまりの担当になって7年目になります。自分の仕事の関係もあって、特集をどう料理

するか関心をもって読んでいます。特にゴミ問題など、生活に密着したことに興味があります。市役所関係のものは何かむずかしいという先入観がありますが、市政をわかりやすく説明してあると思います。世帯主として行事のお知らせもよく読みます。

## 市外でもいい情報 があれば知りたい



主婦  
鈴山幸子さん

(立花台3丁目、36)

おととしの7月長崎から移ってきました。長崎では「私の好きな風景」という身近な話題が

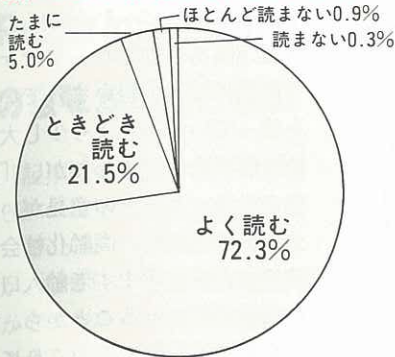
連載されていましたが、自分の知っているものが載っているとやはり興味がありますよね。今は文化情報や、子どもの関係で保健コーナーなどに関心があります。

九陶の展示会や佐大の公開講座など市外でもいい情報があれば知らせしてほしいですね。

# ました



## 広報いまりを読んでいますか？



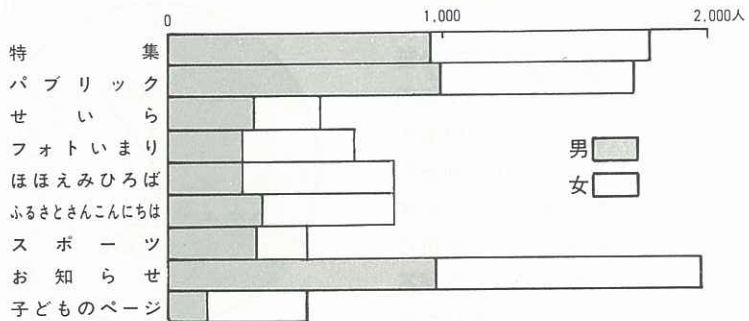
読まれている記事は、お知らせ、特集、パブリック（市の行事中心）がほかの記事を離してベスト3になっています。男女別では、特集、パブリックはやや男性に多く読まれ、ほほえみひろばや子どものページなどは女性が男性の2倍前後も多くなっています。

## 特集の要望トップ 消費生活について

特集については、取りあげてもらいたいテーマを3つ選んでもらいましたが、トップは消費生活で、次いで観光、環境問題

の参考にしたり、ときどき読み返して当時をなつかしんだりしています。表紙写真は、月々を象徴するように苦心しており、感心しています。スポーツ欄などで生徒の写真や名が載っていると嬉しくなります。子どもたちの励みにもなっています。

## 主にどのような記事を読みますか(3つ選んで)

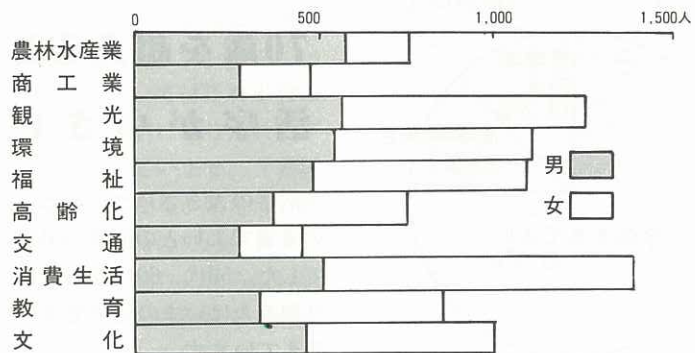


となっています。テーマによっては男女間にかなりの差があり、男性が多いものでは農林水産業が女性の3.3倍、交通が1.8倍、逆に女性が多いテーマでは消費生活が男性の1.7倍、教育が1.4

倍などとなっています。

予算、決算については、57.5%の人がわかりやすいと答えています。専門用語が多いのでできるだけ易しいことばを使っていきたいと考えています。

## 特集に取りあげてもらいたいテーマ(3つ選んで)



## 毎月保存して 当時になつかしむ



中学校教員  
吉武幾二郎さん  
(山代町楠久津43)

毎月保存しています。整理用紙に2つの穴が空けてあるので便利です。学校だよりを作るとき

## トイレで ゆっくり読みます



農業  
中村正義さん  
(二里町大里61)

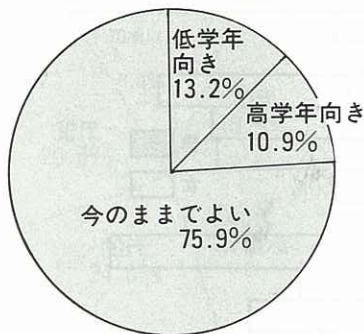
失礼な話ですが、トイレでゆっくり読みます。“長便所”になり、家族には不評ですが…。

市政の動きや行事、催し物の様子などが簡単にまとめであり、重宝しています。農業の技術的なことは農協いまりを参考にしていますので、広報では、国営農地開発事業の進み具合など、農業に対する市の取り組みを紹介してほしいですね。

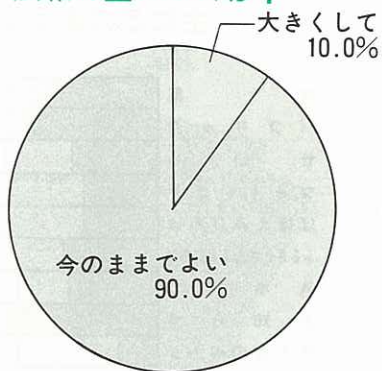
## 子どもたちの回答も

子どものページについての質問で、10代の答えが「高学年向き」42.9%と高くなっています。これは子どもたち自身が回答を書いた結果と思われる。また、漢字にはふりがなを付けてほしい、と意見を添えた回答もありましたが、ふりがなが多いと読みにくい面もあり、読み方がむずかしい地名や人名などのほかはふりがなを付けていません。低学年の子どもたちにも読めるように、むずかしい漢字はできるだけ使わないで、やさしい表現に努めています。

### 子どものページの話は？



### 広報の型(大きさ)は？



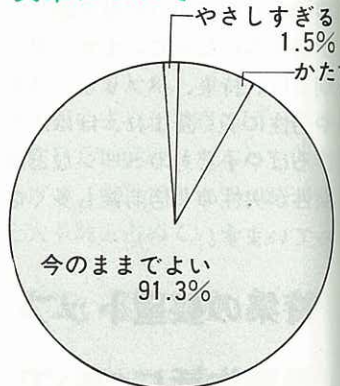
現在、他市町村の広報紙はA版に変わってきています。写真や絵を多く使うためには、今のB版では窮屈なため、広報いまりもA版への移行を考えていましたが、今のままでよいとの回答が90.0%あり、今後の課題として再検討したいと思います。

## 70歳を超えると活字が小さい

活字の大きさについては、今のままでよいとの回答が91.5%でした。50代、60代でも、ほぼ9割の人はいまの活字でよいと答えています。

ただ、70歳を超えた人では、小さくて読みにくいと答えた人が12.8%ありました。アンケート用紙には、広報いまりでいつも使っている活字より少し大きめの活字を使用しましたが、「読みやすかった」との意見がいくつかありました。高齢化社会を迎え、今後ますます高齢人口の増加が予想されることから、活字を大きくした紙面づくりについても考えてみたいと思います。

### 文章について



文章の表現は、10代、20代で「かたすぎる」と答えた人が20%~30%ありましたが、ほかは男女とも90%以上が今のままでよいとの回答でした。

## 地区行事の紹介に方言を使ったら...



波多津中新2年  
内田志保さん  
(波多津町 13)

子どものページには、漫画とか、絵や作文、詩など子ども自身の作品を載せてほしい。みんな

なもっとよく読むと思います。

市内各地区の行事などは、広報で初めて知ることが多く「こがなかつばしよらすとね」と興味深く読みます。行事の紹介の中で、その地区の方言を使ったら、その時の雰囲気がいかに伝わって楽しいと思います。

## 写真を見たら内容がわかる紙面を



大川町青年団副団長  
北野真吾さん  
(大川町宿 27)

写真をバラバラと見て、興味があるものだけ読みます。独身時代は「ほほえ美さん」がいち

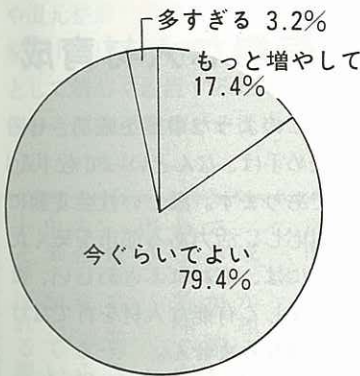
ばん気になりました。結婚したらそうでもなくなりましたが…。今はいろいろな情報紙がはらんとして、大川町内でも5種類あるほどです。写真を見れば内容の半分ぐらいはわかるような紙面にしたらと思います。文章だけだと見る気がなくて…。

パブリック インフォメーション  
**Public Information**

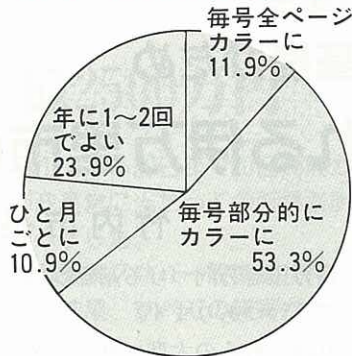
**の意味がわからない**

「記事の中の横文字（外来語など）の使用について」の質問に、「Public Informationとは何か。なぜ日本語で『市政報告』とかできないのか」との指摘がありました。『フォトいまり』と同じように、ひとつのタイトル（題）と考えて使っています。文中の横文字については、できるだけ日本語に言い換え、適切な言い換えができないときは、（ ）の中に日本語の意味を書くように心がけています。

**写真の使用について**



**カラー(色刷り)について**



写真の使用について「もっと増やしてほしい」との回答が、60代13.9%、70歳以上8.9%なのに対し、10代60.0%、20代32.1%と、若い人の“活字ばなれ”を反映した結果となっています。若い人にも親しまれるように、写真や絵を効果的に使った魅力ある紙面づくりにさらに工夫したいと考えています。

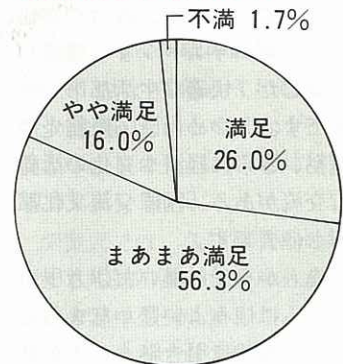
色刷りについては、約半数の人が毎月部分的にとり入れたがよい、と答えています。「表紙を色刷りにしたら、明るく、親しみやすくなるのでは…」という意見や「色刷りに頼らない紙面づくりを」との指摘などもありました。

**より多くの人が満足  
できる広報目指し**

満足度については「満足」と「まあまあ満足」を合わせると82.3%となっています。

アンケート結果や意見などを今後の広報づくりに生かし、皆さんにさらに親しまれ、信頼されて、より多くの人が満足できる「広報いまり」を目指します。

**現在の広報いまりに満足していますか？**



このアンケート調査は、各駐在員さんや地区役員さんなどの協力によって実施できました。ありがとうございました。

**カタカナ語は  
できるだけ日本語に**



松尾重利 さん

(立花町東円蔵寺 92)

本を読んだり、文章を書いたりするのが好きで、毎日市立図書館に通っています。

広報は毎月楽しみに読んでいます。特に、市政欄やせいらは必ず読みます。文章はわかりやすい表現をするように気をつけてありますが、カタカナ語はなんとなくかならないですかね。言い換えができる言葉は、できるだけ日本語でお願いします。

**声の広報楽しみに  
待ってもらおう**



伊万里こだま会  
会長

末次艶子 さん

(二里町川東 63)

こだま会では、広報いまりを朗読してテープに吹き込み、目の不自由な人に声で聞いてもら

っています。毎月、皆さんに楽しみに待ってもらっています。

活字を朗読する立場から言えば、朗読みの語句を多くして、和製英語、横文字をなるべく少なくしてほしいと思います。予算決算などの財政用語もむずかしいですね。

## 平成3年第1回定例市議会

### 21世紀を迎える基礎がため

# 次代に誇れる伊万里市の創造

## 竹内市長が所信表明

私は、きたるべき21世紀にあるべき伊万里市の将来都市像として、3つの性格を持つ都市の姿を考えています。1つは、各種の産業がバランス良く発展し、経済変動に柔軟に対応できる力を持った「活力ある産業都市」の姿です。2つは、教育や文化、福祉、レクリエーション機能が充実した「快適な生活都市」の姿です。3つめは、国際観光や貿易、さらに経済や文化の活発な交流がある「国際交流文化都市」の姿です。

先人から受け継いだ伊万里市をさらに住みよい豊かなまちとして、次代に引き継ぐことが私たちに課せられた課題です。この課題に向かって積極的に取り組み「子や孫に誇れる豊かな郷土づくり」の実現を目指し、こん身の力を注いでまいります。

### 大型プロジェクトの 円滑な推進を図る

すでに、伊万里湾大橋の着工や西九州自動車道の路線決定、水産コンビナート及び飼料穀物コンビナートの形成、海洋リゾート開発、国営総合農地開発事業や農道離着陸場の着工、さらに自動車関連産業の進出など将来に大きな夢を育むプロジェクトが動き出しており、これから

の伊万里を方向づける基礎固めができつつあります。

私はこれらの大型プロジェクトの円滑な推進をはかり、21世紀の伊万里市をオールドイマリの歴史とロマンあふれる「歴史のまち」、未来を志向する学術研究都市を目指す「未来のまち」、世界の人が集う「世界のまち」として方向づけを行い、ゆるぎない伊万里市建設になお一層の努力を傾ける決意です。

### 物の豊かさから 心の豊かさを求めて

人々の価値感、物の豊かさから心の豊かさを求める方向へと変化しています。私は、生涯を通じ自由に、しかも主体的な学習や文化活動ができる生涯学習活動への取り組みや地域の歴史や文化に根ざした「伊万里学」の研究を提唱しているところです。

伊万里市は全国平均より10年早く高齢化社会を迎え、その対策を急がなければなりません。私は、高齢者対策の範となる「モデル長寿村」の建設を進め、さらに子どもや障害者を含めたすべての人にやさしいまちづくりを推進したいと考えております。

セラミックロードの起点である伊万里は、世界にその名を馳

せており、かつてヨーロッパの王侯貴族が愛した古伊万里は、今なお世界の各地で絶賛されています。

私は、伊万里のまちを古伊万里文化が漂うまちに修景し、世界の人が憧れ、訪れ楽しい文化交流が行われる国際交流のまちにしたいと考えています。

### あすの伊万里を担う 有能な人材育成

このような事業を成功させる決め手は、なんといっても「人」であります。激しい社会変動に対応し、活力ある都市を築くためには、それにふさわしい、たくましく有能な人材を育てなければなりません。

そのため、佐賀大学をはじめ、各種機関や学習活動との連携を密にして「21世紀伊万里村づくり塾」や「伊万里アカデミー」などいっそうの工夫をこらしながら、次代を担う人材の育成に努めてまいりたいと思います。

私は、すでに動きはじめた大型プロジェクトの推進をはじめ、自然のやさしさと薫り高い文化など、ハードとソフトを車の両輪として展開し、やがて来る新しい時代の舞台となる、活力ある伊万里市建設にさらに施策の展開を図ってまいります。

## 平成3年度当初予算

# 一般会計 177億2500万円

伊万里市議会第1回定例会が、3月1日から20日まで20日間開かれました。開会初日は、竹内市長が市政運営に当たつての所信表明や新年度予算議案などの提案理由を述べました。

今回の議会には、予算議案20件、条例議案7件、一般議案10件のあわせて37件の議案が提出され、審議の結果、すべての議案が原案のとおり可決されました。

## 火災予防指導などに 女性消防団員を採用

条例議案では、県内各地に先がけ女性の消防団員を採用するための消防団条例の一部改正案や復元整備を進めてきた旧吉永家を「伊万里市陶器商家資料館」として新しく設置するための条例の一部改正案などが提出され、可決されました。

女性の消防団員は市民に対する広報や独居老人に対する訪問指導など、火災発生前の予防活動を充実させるために採用するものです。

平成3年度の当初予算は、一般会計177億2500万円、特別会計が99億853万円です。一般会計は、市長選挙のため6月補正予算で肉付けした前年度に比べ11.7%の増額となっています。（詳しい内容は、4月15日号の予算特集号でお知らせします）

## 松浦鉄道 波瀬駅を新設

松浦鉄道（株）西九州線の久原～浦崎駅間に波瀬駅が新設され、3月16日開業式が行われました。

松浦鉄道は、沿線住民の足を守るために昭和63年4月、伊万里市からも出資した第三セクター方式で開業しました。以来、川東、里、鳴石、福島口駅と、市内だけでも4駅を新設し、波瀬駅が5つ目の新駅となります。

このような新駅の設置や、JR時代と比べて倍近くになる便数の増加、利用しやすいダイヤ改正などにより、利用者は年々増加しています。

開業式では、久原保育園の園児による鼓笛演奏などが行われ、新駅の誕生を祝いました。

新しい啓成中学校が四月一日にオープンする。市役所は街の南側の丘の上にあるので、街をはさんで二つの建物があいたいすることになった。

伊万里市の東部では統合中学校の起工式があったかと思うと中心部では県内一のマンモス校であった伊万里中学校から分離して啓成中学校が落成した。

「啓成」という校名は市民の公募の中から決定されたもので、初代伊万里小学校校長の草場船山先生が明治の学制以前に建てられた「啓蒙舎塾」の「啓」と元号の「平成」の「成」が組み合わされたものであるが、新しい学校にふさわしい名称であるように私は思う。

校章も公募されたものを組み合わせ、さらに着色されて出来上がっているが、松浦富士と呼ばれる腰岳と山々の緑



を配し全体として星がデザインされている。

制服も関係者で検討された結果、清潔でスマートな感じの男女それぞれのブレザーに決まったようである。

校舎の特色としては一階の多目的教室や二階の図書室をいままでの画一的な教室から円形教室として、ゆとりの教育をめざし、語学力をつけるためL・L教室を設置するようになっているが、このいずれもが市内では初めての試みである。

このように形はなにもかも新しくなったので、さらに大切なことは内容で、新しく赴任される校長先生や諸先生、生徒や保護者の皆さんで「啓成」にふさわしい校訓や校歌の制定とともに新しい校風づくりをしてもらわねばならない。

学校が分離した場合考えねばならないのは、新しい学校に対してもとの学校の問題で、伊万里中学校では当面大規模改修が行われるので特別教室などにゆとりと特色をもたせ、何かほかの学校にない施設や設備で新中学校に対応できるものが考え出されれば幸いである。

（竹内）

## 公共下水道の

### 伊万里津中継ポンプ場完成

市内松島町で建設を進めていた公共下水道の「伊万里津中継ポンプ場」が3月末完成し、4月1日から運転を開始することになりました。これで上黒尾町、相生町、船屋町の全部と、松島町、脇田町の一部では、いつからでも汚水を流せるようになりました。

この伊万里津中継ポンプ場は、焼き物の積み出しでにぎわいをみせた伊万里津の歴史を伝える施設として和風平屋の瓦葺建物とし、江戸時代の鍋島藩の御番所風に再現したものです。



◎御番所風に建てられたポンプ場

敷地面積1,437<sup>平方</sup>メートル、鉄筋コンクリート造りの地下2階、地上1階で延床面積は518<sup>平方</sup>メートル。総事業費7億5,000万円をかけて建設されました。

## 大連テレビ局から視察

### 伊万里CATVと交流推進



◎竹内市長を表敬訪問し、懇談する視察団

中国・大連市の大連テレビ局から李宝俠局長、同局顧問の于植元・大連師範学院名誉院長など代表視察団5人が2月26日伊万里市を訪れ、伊万里ケーブルテレビ（池永栄二社長）の施設見学などを行いました。

同局は創業20周年事業として5月に実施する国際映像祭で、伊万里市が贈ったトンテントン祭りのビデオ放映を計画。編集作業などの下準備も兼ねて訪れました。李局長は「これを機会にビデオの交換などを行い、お互いの市を紹介しあいましょう」と映像をとおした相互交流に取り組む意向を示しました。

## 大連管理幹部学院へ

### 日本語図書1,500冊贈る

市は3月13日、中国・大連市へ日本語の図書1,500冊を贈りました。昨年9月から大連管理幹部学院で日本語を教えている松尾真介さん（32）が2月に一時帰国し、「現地では日本語の教材が不足している」と要請したため、こたえたものです。

市内小・中学校に協力を呼びかけ、図書室などで不要扱いとなった国語辞典や図鑑、年鑑などを回収。箱詰め作業は、ひとつの箱が20<sup>冊</sup>を超えないように詰め、全部で70個を作りました。船と飛行機を利用した「SAL便」で送り、大連市には4月15日ごろ届く予定です。



◎小・中学校などの協力で1,500冊が集まりました



## 白壁土蔵風公衆トイレ完成

本町バイパスにある市営中央駐車場に、洋式を備えた公衆トイレが完成しました。外観は白壁土蔵風に仕上げ、焼き物の積出港としてにぎわった伊萬里津の雰囲気を出しました。

広さは32畳。外国人も利用しやすいように男子用、女子用ともに2つのうち1つは洋式を備え、体の不自由な人のための身障者用トイレも設置しています。事業費は800万円。国際観光モデル地区整備事業の制度を利用しました。



## 独居老人宅に消火装置

市消防本部（山口 正消防長）は、独り暮らしのお年寄りを火災から守るため3月4日と5日、市内20軒の家庭に簡易自動消火装置を取り付けました。

75歳以上と、65歳以上で体に障害のある独り暮らしのお年寄り約250人を対象として今年から始め、4、5年をめぐりに対象家庭すべてに取り付けることにしています。

この消火装置は台所など火を扱う場所に設置。72度以上の熱を感知すると消火液を放出し、火を消しとめる初期消火に効果があるものです。



「火には気をつけていますが、これで「安心」と喜ぶ山口松枝さん（相生町、七六）

## 消火協力者へ感謝状



◎感謝状を手に喜びの前田さんと梅村さんの奥さん（左）

市消防本部（山口 正消防長）は3月8日、南波多町笠椎の梅村繁さん（60歳）と前田アキ子さん（56歳）の2人に消火協力の感謝状を贈りました。

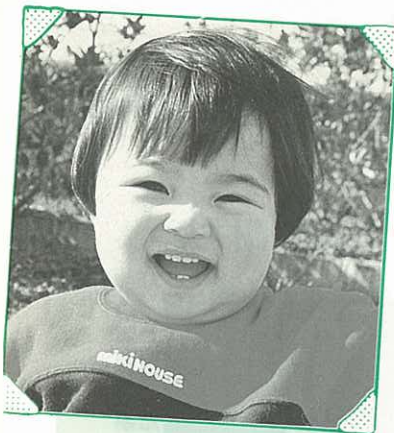
梅村さんは、1月13日午後1時40分ごろ、自宅近くの民家の作業小屋から煙が出ているのを発見。中にあった材木などが燃えていたため、近くの水槽からバケツを持って消火するとともに、前田さんに消防署への通報を依頼。その後駆けつけた前田さんと2人で火を消し止め、延焼を未然に防ぎました。

## 春の火災 予防運動で 合同消火訓練



市消防署と消防団二里分団、東山代分団による合同火災消火訓練が3月3日、市民病院で実施されました。訓練は、午前9時10分、病院の2階宿直室から出火。初期消火に失敗して、火災は延焼拡大。3階に負傷者が1人、屋上に救助を求める数人がいることを想定して行われました。

入院患者などが見守る中、署員、団員120人、はしご車など消防車両12台が出動し、通報、消火、救助活動など本番さながらの訓練を行いました。



## わが家のP.O.P.O.★

野田 景子ちゃん  
(1歳)

聖二・美樹子さんの長女

1日1日大きくなるのでお父さんがケイちゃんと呼ぶずに「D a y ちゃん」とあだ名をつけてくれました。暖かくなったら公園で遊びたいなあ。(弁天町)

# ほほえみひろは

この広場はみなさんのページであなたの声をお寄せ下さい。

※申し込みを順次受け付けています。

### オーナーを募集して

## 梅300本を植樹

市は3月5日、大川内町吉田の腰岳南斜面の市有地8,700平方に、1年生の梅の苗木300本を植樹しました。

ピノキオの家や山菜葉草園など森林とのふれあい環境整備対策事業の一つとして、去年から一般のオーナーを募り梅林づくりを行っているもので、梅のオーナーとなって花見や梅の実の収穫を通じて自然に親しんでもらおうというものです。

今年は1人3本までの制限つきで250本のオーナーを募集したところ、東京や福岡など県内外から146人の応募がありました。この日現地を訪れ、自分の梅の木を確認するオーナーの姿も見られました。

植えられた梅は、白加賀、南高、豊後の3種類で、5年くらいたてば梅の実が収穫できるようになるだろうとのこと。草刈りや施肥など、あとの維持



◎自分の梅の木に名札をつけて植樹するオーナーの1人

管理は、市で行うことにしています。

## 郷土の文化財

### 箱式石棺



今回は箱式石棺を紹介しましょう。箱式石棺とは板状の石材、数枚を長方形の箱形に組み立て、石蓋でおおう棺の一種です。

写真は二里町の西尾遺跡から出土した箱式石棺です。大きさは長さ1.7メートル、幅約30～45センチです。蓋石は6枚残っていて、床面には平らな板石を敷いています。側石は二重になっていて、大変ていねいに構築されています。しかし、小口側の石は抜き取られ、また石材が砂岩だったため、蓋石のうち2枚は破損していて、石棺自体の保存状態はあまりよくありません。副葬品として内部から碧玉製管玉1点、骨角製管玉1点が出土しました。副葬品の位置から頭部は左側と思われます。伊万里市内にはこのほかにも新天町出土の坂口古墳の石棺（城山公園に移築）、二里町川東出土の高岸たかさしの石棺（歴史民俗資料館に展示）などがあります。

## あの人この人 No.87 全国総合技術展で 労働大臣賞受賞の 徳永三郎さん(65)

昨年4月から伊万里技能開発センターでろくろ技術を学び、そこで製作した和紙染蓋物(陶芸作品)が、1月に東京で開かれた全国総合技術展で労働大臣賞を受賞。全国の訓練施設から集まった4,000点の作品の最高賞に輝きました。

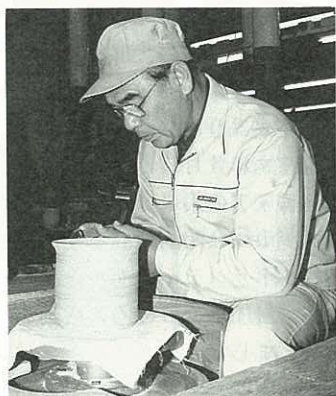
受賞作は、ろくろ作りの直径25<sup>センチ</sup>、高さ17<sup>センチ</sup>の蓋物。和紙染めで七宝文を描き、中に赤い十文の花文を入れた作品です。

「ふたと身がなかなかきっちり合わなくて苦心しました。最初は信じられませんでした。励みになります」と徳永さんは喜んでいました。

焼き物づくりを始めたのは4

年前。古陶磁が好きで、鍋島や古伊万里を収集していましたが、奥さんのスミ子さん(64)から「いっそ自分でつくったら…」と勧められたのがきっかけで、「そのほうが安上がりと思ったのでしょうか」と、徳永さんは笑っていましたが、受賞をいちばん喜んだのは、やはり奥さんだそうです。

「これからも生きがいとして焼き物づくりに打ち込みます」と徳永さんは張り切っています。



## ほほえ美さん



古賀 亮子さん(22)

東山代町天神(おとめ座、O型)

去年の6月から、伊万里養護学校で給食の仕事をしています。

学生時代は、親のすねをせいっぱいかじり、ヨーロッパやハワイに行かせてもらいました。また行きたいと思っています。今度はもちろん自前です。

性格は、明朗、活発、お人好しの母にそっくりだっていわれます。喜んでいいのかな？

## 四季の詩

末孫に入学といふ別離あり  
船屋町 黒木 青苔

そら豆の葉裏を返す風ありて

春の野面は陽光あつむる

脇田町 村田 妙子



～大連だより～ その1

## アカシアの町・大連から

伊万里市は、中国・大連市との国際交流の一つとして、前伊万里小学校講師松尾真介さんを日本語講師として管理幹部学院へ派遣しています。その松尾さんにこのコーナーで大連の様子を紹介してもらうことにしました。



大連 管理  
幹部学院  
日本語講師  
松尾真介さん  
(弁天町、32)

幼いころ、今は亡き祖母の懐に抱かれながら聞いたアカシア並木とレンガ色の町「ダイレン」祖父が蒸気機関車をつくり、そして叔母が逝った町「大連」。日中の歴史とわが家族を語る大切な町である。いつか必ず行っ

てみようと思っていた想像尽きぬ町である。今回、伊万里市と大連市との人材交流のひとつとして派遣させていただく機会を得ることができた。そして、昨年9月以来、約半年間の生活を通じさまざまな体験を、また知識を得ることができた。

本市の友好都市である大連市のことを市民の皆さまにも広く知っていただきたくて、広報の紙面を借りて大連事情の連載をさせていただくことになった。



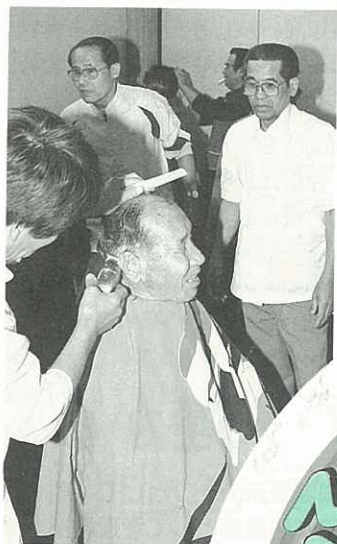
## 女性雑誌記者に観光PR

伊万里市や唐津市など2市9町2村で構成する佐賀県西北部地域観光振興協議会（会長 竹内通教伊万里市長）は3月26日と27日の2日間、福岡県の女性誌記者12人を招き、伊万里焼や有田焼、唐津焼など他に類をみない焼き物の産地をもつこの地域の魅力をPRしました。

福岡市でミニコミ誌「まいたうん」を発行している坂田 吟さん（43）は、「大川内山はしっかりといて、女性がそぞろ歩きするのにいい所ですね」と、初めての大川内山の印象を話してくれました。



◎大川内山の窯で焼き物を手にとってみる女性記者



◎チャリティー理容で頭スッキリ！

ひろめようあなたのやさしさをテーマに3月17日、第7回ボランティアの集い「ふれあい広場」が市民会館前の駐車場で開かれ、ボランティアグループ21団体が参加し、日ごろの活動を紹介しました。

竹細工コーナーでは、子ども

たちが「コスモス村」の指導で竹トンボを作って飛ばし、点訳奉仕の会「きつつき」のコーナーでは、家族づれなどが点字のしおり作りを教わるなど、会場を訪れた1,000人の人たちとのふれあいを深めていました。

また、隣り合わせた中央公民館では文化祭が同時に開催され、同公民館で活動をしているサークルが手話劇や社交ダンス、大正琴、民謡（踊）などを発表したり、フランス刺しゅうやすみ絵、袋小物などの作品を展示して、成果を披露しました。



◎さすがに「先生」の手つきはあざやか。尊敬のまなざし？



◎点字のしおりづくり。根気がいります



◎中央公民館文化祭の展示



## 焼き物で「あかり」を創作

市内窯元の若手で作る伊万里陶青会（畑石真嗣会長、17人）の第3回創作展が2月19日～24日の6日間、有田町の県立九州陶磁文化館で開かれました。

今回のテーマは「あかりとインテリア」。焼き物で照明の明かりをやわらかく、ロマンチックに演出し、ゆとりと安らぎのある生活空間を創り出していました。

1回目の形の原点に戻る「〇△□展」、昨年の食卓に遊び心を取り入れた「遊膳」と、新しい感覚による意欲的な創作展が続いています。



## 黒木建設1,000万円寄付

松島町松島の黒木建設株式会社（黒木 進社長）から創業70周年記念事業として2月27日、市に1,000万円の寄付がありました。寄付金は「ふるさとづくり基金」に積み立て、地域おこし運動などを支援するために活用します。

黒木社長（61）は「初代（故・黒木右馬氏）を名誉市民にさせていただくなど、伊万里の皆さんには大変お世話になっています。対外的な記念行事を取りやめて寄付にしました。地域のために役立ててください」と話していました。

◎竹内市長に寄付金を手渡す  
黒木社長（写真右）



## 農家の味を伝授



料理自慢の農家の婦人が、一般の消費者に農家の味を伝授する「伊万里の味講座」が3月8日、伊万里市農協婦人の家で開かれました。

西松浦農業改良普及所などで入賞した農家の婦人30人を集めて取り組んできた「ふるさと味のセミナー」の仕上げとして行われ、先生役の農家の婦人15人と一般の婦人25人が参加。和気あいあいの雰囲気、がんびやあ小麦団子、かわりごまめ、手作りしょうゆ、とうこうなど6種類の農家の味づくりを楽しみました。

## 啓成中に油絵寄贈



◎寄贈された絵と半澤さん、馬場さん、黒木教育長（写真左から）

3月2日～4日に開かれた「1枚の繪絵画展」で、（株）慶応堂書店の馬場邦彦社長から今年4月開校の啓成中学校に、画家半澤 満さん（54）の油絵「蜜柑畑よりの展望」（15号・時価60万円）が贈られました。絵は、半澤さんが1月に伊万里市を訪れて描いた12作品のうちの一つで、腰岳の中腹から市街地を眺めた風景が描かれたものです。

絵画展は、人気画家を中心に80人の作品約150点が展示され、なかでも時価9,000万円もする東山魁夷画伯の「夕風」（特10号）が会場を訪れた人の関心をひいていました。

# ポカポカ陽気のもとで 市民レクリエーション祭



◎アッカーマンさんの出場で、英語版によるラジオ体操。  
楠久保育園の園児たち、ワカッテイルノカーナー？



◎外国人でただ1人  
参加した宣教師の  
ティム・アッカーマン  
さん(新天町, 33)

「イベントが好きなのでいろいろ見て回っていますが、参加するのは初めて。とっても楽しいです。輪なげよりもフリスビーに自信があります」



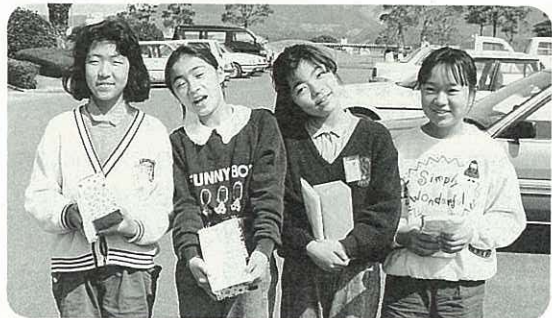
太極拳講習会には約50人が参加しました。毎朝の体操として太極拳を取り入れている楠久保育園の園児たちも特別参加。かわいい演技を披露しました。

また、グループで参加した東山代町長浜の太極拳愛好会の武藤タカ子さん(43)は、「メンバーは現在16人。中年の方が多いのですが、四十肩、五十肩によいと話を聞きます。続けていきたいですね」と太極拳の効用を話されました。

第15回伊万里市民レクリエーション祭が3月10日、国見台運動公園で行われました。当日は青空が広がる絶好のスポーツ日和。春のポカポカ陽気に誘われて、家族連れや仲よしグループなど300人が参加。グラウンドゴルフや宝さがしラリー、太極拳に汗を流しました。



グラウンドゴルフには、少年剣道チームや老人クラブなど25チーム、150人が出場。2ゲーム、16ホールでスコアを競い、大川内山チームが団体戦で優勝しました。



写真左から前田真希子ちゃん、弘川妙子ちゃん、山口飛鳥ちゃん、平井千佳ちゃん。立花小学校6年3組の仲よしグループで、学校でチラシを見て参加したそうです。

「スポーツより宝さがしがズーッと歩いたのできつかった。賞品はランチポットやはさみ、鉛筆削りなど。おなかすいたー。弁当食べてカーエローっ」と元気な4人組でした。

## 第17回市バドミントン・シングルス大会 上村さん、夫妻で優勝



伊万里市バドミントン協会（中島紘一会長、59人）主催の第17回市バドミントン・シングルス大会が3月17日、国見台体育館で行われ、男女18人が出場。日ごろの練習で培った技と力を競いました。毎年市教育委員会で開催している初心者用のバドミントン教室などで愛好者は増えていますが、まだ経験者と比べると技術的な差が大きいため出場者が少なく、少しさびしい大会となりました。

協会役員は、「底辺のレベル

を上げて大会出場者が増えるような方向へもっていきたい」と今後の対策を話していました。

上位の成績は次のとおりです。  
（敬称略）

### <男子>

- 優勝 上村 正臣 (34)
- 2位 丸尾 定 (36)
- 3位 金子 一馬 (36)
- ” 古賀 知之 (26)

### <女子>

- 優勝 上村 志子 (36)
- 2位 下平 卓子 (35)
- 3位 井手 民子 (40)

市は、「市民1人1スポーツ」を推進し、各町に体育指導委員を配置しています。あなたのまちの指導委員さんをご紹介します。スポーツのことなら気軽に声をかけてください。

### ●東山代町(左から)

田中 徳夫さん(56) 里  
金子 恵子さん(55) 長 浜  
出雲登志男さん(43) 川内野

♥スポーツやレクリエーションに汗を流し、皆さんと楽しみましょう。

## 4月のスポーツ

28日(日)

- 黒川町民体育祭  
8時20分開会 黒川小学校

29日(月)

- 緑と歴史のクロスカントリー 駅伝  
9時半開会 東山代公民館

5月5日(日)

- 黒川町子ども相撲大会  
8時半開会 黒川小学校

## 早朝ソフト大会 参加チーム募集

- 資格 市内在住者または市内の事業所に勤務する社会人
- 編成 1チーム 25人以内
- 参加料 1チーム 5,000円
- 受付期間 4月17、18、19日の3日間で、18時～20時まで下記の申込先で受け付けます
- 申込先 国見台球技場横のソフトボール協会事務局
- ※申込書は、各町公民館に準備しています。

# 皆さんよろしく!

## あなたのまちの

## 体育指導委員です



## 国民年金 20歳以上は学生も強制加入に

平成3年4月1日から、20歳以上の学生も、国民年金へ加入しなければならぬようになりました。加入することで、万一障害者になったときは障害基礎年金が受けられます。また、65歳から満額の老齢基礎年金が受けられます。

〔加入手続きのしかた〕

手続きができる人=本人(同居の場合は親が代行できます)

手続きをする場所=本人の住民票がある市(区)町村の窓口

手続きする時期=4月1日以後

しかし、学生本人と親元などの世帯の所得状況により、保険料を納めることが困難であると判断された場合は、一定期間の保険料が免除されます(免除を受けた期間の老齢基礎年金は、3分の1に減額されます)。なお卒業後に、免除を受けた期間の保険料を追納して、減額のない年金を受けることもできます。  
※詳しいことは、市民課年金係へ(☎2111 内線215・220)

## 受付ま〜す

### 小規模土地改良事業

農業基盤整備を図るための小規模土地改良事業を共同で施行される人は、5月末までに認可申請書を区長名で提出してください。

#### 対象事業

- 事業の受益農地が1ヘクター以上で受益戸数が5戸以上
  - 農道(幅員2.5m以上)、ため池、水路、頭首工、橋梁の新設・改良、農道舗装(幅員2m以上)などの事業
  - 補助率は事業費の45/100以内で、事業費の上限は100万円
- ※昨年申請しながら認可されなかった分については再申請が必要です。

認可申請が受付期限をすぎた場合は受け付けません。

◎詳細については市土地改良課へお問い合わせください。

(☎2111 内線362・382)

### 近世文書研究会員募集

- 日時 毎月第2土曜日  
13時~14時 初心者相互学習  
14時~16時 講義
  - 会場 中央公民館
  - 講師 前山 博さん(佐賀県立九州陶磁文化館副館長)
  - 受講料 無料(テキスト代実費)
- ※詳しいことは、市郷土研究会へ(市図書館内 ☎7105)

和日 4月12日(5月休め)

### 耳や口の不自由な人に

#### 「電話お願い手帳」

NTTは毎年、耳やことばの不自由な人が電話をかけたいときに利用する「電話お願い手帳」を差し上げています。

今回は「NTTファックス送信用紙」と「電話お願いメモ」も用意しました。市福祉事務所に展示していますのでご覧ください(☎2111 内線262)

## 家庭奉仕員

### 採用試験

市社会福祉協議会は、老人や重度身体障害者のお世話をする家庭奉仕員の採用試験を次のとおり行います。

- 採用人員 2人
- 受験資格 昭和21年4月1日から36年4月1日までに生まれた女の人で、市内に居住し、準看護婦以上の資格をもっている人
- 採用試験 作文、面接試験と身体検査
- 採用期間 2年間
- 受付期間 4月5日~20日(郵送は締切日消印まで有効)
- 申し込み・問い合わせ先 伊万里市役所内 市社会福祉協議会(☎2111 内線264)

## 台湾ザルの花嫁さん募集

国見有料道路料金所で飼育していた台湾ザル雌雄一対のうち、雌が昨年暮れ亡くなりました。残された雄の台湾ザルは1人?さびしそうにしています。

どなたか台湾ザルの雌を飼っている方で、無償で譲っていただける方、または、残された台湾ザルの雄を引き取ってもよいという方は、次のところまでご連絡ください。ただし、台湾ザルと日本ザルは、同居できませんのでご注意ください。

- 連絡先 市商工観光課観光係(☎2111 内線354)

※ 緑と歴史のクロスカントリー一駅伝大会出場チーム募集 : 日時 4月29日(月) 9時~



## 480円は交通安全のお守り

### 家族そろって市民交通傷害保険

市内の人身事故は 昨年中に300件発生し、3人が死亡、378人が負傷しています。市民みなでお互いに助け合う市民交通傷害保険は、年間480円の小さな掛金で大きな安心が得られます。

#### ●保険料

1口480円(1人2口まで)。  
身障者(1・2級)療育手帳Aの所有者は240円です

#### ●保険期間(期間中転出も有効)

平成3年5月1日  
～4年4月30日

#### ●保険金

- 死亡・後遺障害の場合100万円
- 治療期間に応じ5千円～12万円

#### ●申し込み方法

保険料を添えて市内各銀行、信用金庫、各農協または市役所で

※お尋ねは市民課窓口係まで

(☎2111 内線289)

## 5月開催の市美術展

### 作品募集

- 部門 日本画、洋画、彫塑、書、陶芸、商業美術、写真(1人2点以内、写真4点以内)
  - 応募資格 市内在住者か市内に勤める人(小中学生は除く)
  - 申込み 作品搬入時に受け付け
  - 作品搬入 5月12日(日)13時～16時 歴史民俗資料館
- ※詳しいことは、市美術展事務局へ(市教育委員会 社会教育課内 ☎2111 内線453)

## 移動図書館

市は、移動図書館によるサービスを開始します。2,500冊の新しい図書を積んだ車があなたの町にやってきます。5月から試験運行に入り、6月上旬からステーションを定めて定期的に巡回します。ご期待ください。

## ストマ用装具使用者

### 助成申請受付

- 支給要件 人工こうもん、人工ぼうこう手術をうけた人で、①1月1日現在市内に住所を有し、現在も市民である人 ②生活保護を受けていない人 ※直腸、ぼうこう等で身体障害者手帳の交付を受けている人は、該当しません。
  - 申請期間 新規申請は随時 再申請は4月20日まで
  - 必要書類 再申請は印鑑、預金口座番号。新規は、このほかに医師の証明書、住民票
  - 助成額 月額1,000円
- ※詳細は、市福祉事務所福祉係へお尋ねください。  
(☎2111 内線262)

## 4月は軽自動車税の納付月です

## 今月の市民相談

場所:市民相談室10時～15時

無料・秘密厳守

- 法律 4.18(木)
- 社会保険 5.12.19.26(金)
- 交通事故 9.23(火)
- 行政 17(水)
- 人権 2.16(火)
- 身障者 22(月)
- 青少年 25(木)
- 消費生活 1.8.15.22(月)30(火)
- 婦人就業 3.10.17.24(水)

## 4月の市民会館行事

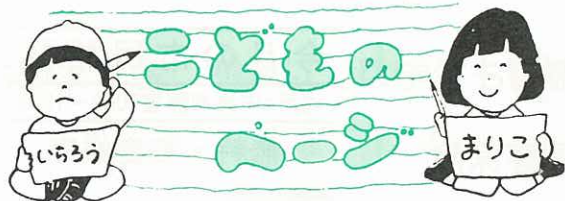
- 5日(金)18時 無料  
クリーニングに関する説明会
- 25日(木)18時 無料  
早朝ソフト監督会議と開会式
- 30日(火)19時 会員制  
人形劇「空から落ちてきたドラゴン」
- 5月4日(土)10時半と13時  
ドラエモン展、大1,400 中1,000 小800
- 5月5日(日)12時半 1,000円  
民踊おさらい会
- 5月10日(金)10時 無料  
社会福祉大会



## 色えんぴつ

広報アンケート調査の結果がまとまった。どのくらいの人に、どんな読み方をされているのか、わからないままに広報づくりをしてきたところもあるので、貴重な意見として大切にしていきたい。それにしても、回答いただいた世帯の7割を超える世帯で広報を愛読されているとのこと、うれしく思うとともに、責任の重さを痛感した。

申し込みと問い合わせ 4月13日までに東山代公民館へ(☎20001)



## 大川内山緑の少年団 桜の植樹のお手伝い

3月3日、「美しい緑の郷土づくり県民運動」伊万里市推進協議会（竹内通教会長）が波多津町の高尾山で行った記念植樹に、地元の浦地区の役員さんとともに大川内山緑の少年団（畑石慎一郎団長、23人）が参加し、植樹の手伝いをしました。

団員たちは、浦地区の役員さんたちが植樹用に掘った穴に、高さ5尺、樹のまわりが16尺ほどもある大きな桜の苗木を植め込みました。



●植樹の手伝いをする大川内山緑の少年団

○桜の名所高尾山公園。昭和六十二年の台風で大きな被害を受けました



「美しい緑の郷土づくり県民運動」は、昭和62年嬉野町で行われた全国植樹祭を記念して始められたもので、今回は高尾山を桜の森にしようと、ソメイヨシ

ノ40本、オオシマサクラ30本とヒラドツツジ150本が植樹されました。

大川内山緑の少年団は、緑の育成や奉仕活動などを目的として昭和54年に発足。植樹祭へ参加したり、公共施設の清掃などに活躍しています。緑の少年団は、「大川内山緑の少年団」が伊万里市でただ一つの団体です。

## 伊万里町子ども会 グラウンドゴルフ大会

伊万里町子ども会連合会（平原武次郎会長）のグラウンドゴルフ大会が3月3日、伊万里小学校跡地で行われ、好プレー、珍プレーが繰り広げられました。

大会には、町内の子ども会から小、中学生6人でチームを作った27チーム、162人が参加。

この日は、ぽかぽかと春の陽気につつまれて、子どもたちは元気いっぱいグラウンドを駆け回り、空振りをしたり、ボールが思うとおりに進まなかったり、一打一打に歓声が上がっていました。また、初



めてスティックを握った子どもには、高学年生や中学生が付きっきりでアドバイスするなど、チームワークの良さをみせていました。